

議 事 録

会議名 令和4年度 第1回国見町総合計画審議会
日 時 令和4年6月29日(水) 13:30~15:15
出席者 15名(欠席6名)

【内 容】

1. 開 会 (司会：企画調整課長)

2. 委嘱状交付

3. 町長あいさつ

今回の審議会は、まちづくりの核となるものを協議いただく、とても重要な会議であると認識している。国見町にもたくさん課題があるが、後ろ向きの思考ではなく、現実を受け入れた上で、前を向き、次を見据える、この町に暮らす人たちの幸福度を上げていきたいと考えている。平成の大合併の際に、国見町は自立する道を選んだ。その真価がいま問われている。国見町で穏やかに幸せに暮らす、その実現にみなさんの力、知恵をお貸しいただきたい。

4. 審 議

- ① 国見町過疎地域持続的発展計画の策定概要について
- ② 国見町過疎地域持続的発展計画(素案)について

※資料により事務局(総合政策係長)説明

【質問・意見】

- ・**委員**：今年3月の地震でライスセンターが被災し使用できない状態である。他のライスセンターを使用するとなれば、料金面でも不利になることもあるので、修繕の計画などあるか聞きたい。
⇒ライスセンターは昭和50年代に整備したと記憶しているが、修繕するとなれば、その費用は利用者負担という形になることも考えられる。修繕するかどうかは、JAと協議中である。使用できない期間は、他地区のミニライスセンターを利用することなども考えられる。
- ・**委員**：だいぶ緩和されてきたが、ジェネリック医薬品の供給不足問題について、やはり困っている人が多いので、町から関係機関に働きかけてほしい。
⇒そのように努めたい。
- ・**委員**：脱炭素について、いくら町が公共施設等で取り組んだとしても、町民一人ひとりが取り組まなければ、日本全体で脱炭素への取組みとしては不十分である。町から政府へも要望をしてほしい。
⇒町としても町民が脱炭素に取り組めるよう、計画の策定を含め事業を推進してまいりたい。

- **委員**：公共施設等総合管理計画について、全体の2割削減を目標としているとのことだが、具体的にどの施設から廃止するようになるのか。また、地区の公民館も公共施設に入っているのか。
⇒優先順位を決めて取り組みを進めていきたい。地震で被災した施設もあるし、くにみ学園整備により、保育所、幼稚園、小学校など課題は多い。
地区の公民館については所有が町内会のため、町内会の管理となる。各地区中央集会所については、町の管理となるが、避難所として指定していることもあり廃止は考えていない。
- **委員**：農家への支援について、新規就農者への補助で町と県で150万円ほど出るようだが、町の主幹産業は農業なのだから、お金の補助だけではなく、各種支援を展開いただきたい。
⇒農機具を揃えるには、それなりのお金が必要なので、ビジネス訓練所で農機具を揃え、それを共有することなども考えられる。また、せん孔細菌病や雹被害などに対する支援・補助はその都度対応しており、今後もそのように努めてまいりたい。
- **委員**：今後、町で考えていかなければならないのは「人材育成」だと思う。高齢化率が40%を超えているなか、地域をけん引してくれる人材が重要であると考えている。
⇒職員の人材育成にも関係してくるが、企画調整課で官民共創コンソーシアムを設立し、民間企業が町に入る機会が増えていく。また、地域活性化起業人という制度を活用し、三大都市圏から企業の社員を受け入れるが、その中で職員のほか地元事業者も刺激を受け、担い手や後継者となることも期待される。
- **委員**：今年3月の地震で観月台の体育館が被災し、利用できない状況になっている。定期的にその体育館を利用していた高齢者の方がいるようだが、そういった方に話を聞くと、スポーツが生きがいの一部だったようで、いつ体育館が使えるようになるのか気にしている様子だった。修繕するのかどうかのアナウンスはいつ頃を予定しているのか。
⇒そういった意見は多くいただいている。しかし、修繕には多額の費用がかかる上、建替えとなれば、敷地の広さが足りないという意見もある。関係者のみなさんと協議を進めているので、もう少しお時間をいただきたい。
- **委員**：教育は、保護者や学校だけではなく、「地域」も重要である。「地域」で子どもを育てるという意識を持って進めていけたら、子どももノビノビと育ってくれるのではないか。
⇒教育はまさにその三者がいないと成り立たない。くにみ学園構想の策定を進めているが、子どもの教育現場に地域のみなさんが入ってきてもらうことで、地域とのつながりを作りたい。
- **委員**：素案68頁に「部活動の地域移行（新）」とあるが、3年後に部活動が地域に移行される。その受け皿として総合型地域スポーツクラブがあると思うが、町で考えている総合型地域スポーツクラブの構成はどのようになっているか。
⇒総合型地域スポーツクラブについては、昨年度から関係者の皆さんと話し合いを進めてきた。年度末にはプレ事業を実施予定だったが、地震により中止とした。構成などは、今後ま

た話し合いを進めていく中で検討し、今年度の設立を目指している。

- **委員**：過疎計画の中で、何を一番アピールしたいのか、何に一番重点を置きたいのかお聞きしたい。また、「国見町といたら〇〇」といった場合、〇〇を何にしたいのか。
⇒総合計画に記載があるが、「住んでいる人の幸せ」を一番柱にしている。それを実現するためには、「人」、つまり「人材育成」だと考えている。「国見町といたら〇〇」は、国見町の良さについて、みなさんと今後一緒に考えていきたい。
- **委員**：観月台公園でコスプレイベントが多く開催されているが、その責任者は私の息子である。息子がそんなことをやっているとは最初は恥ずかしくて周りにも隠していたが、段々と自然に受け入れられるようになってきた。国見町の良さは、そういった多様性を受け入れられるところもあるのかもしれない。
- **会長**：素案 10 頁にある計画の評価について、この審議会で実施することになっているが、数値的な評価だけではなく、質的な評価も必要ではないか。例えば、人材育成、地域や集落がどのように良くなったかなど。検討いただきたい。
- **委員**：私が参加した「教育・子育て・福祉専門部会」のなかで、桜の聖母短期大学の三瓶先生が「市町村が策定する計画は、どこも大体同じ内容」と発言されていた。私もその後、他市町村の過疎計画を参照したが、確かにそのとおりだと感じた。岩崎会長にお聞きしたいが、各市町村の計画策定に携わっているかと思うが、同じように感じるものなのか。
会長⇒過疎計画について申し上げれば、計画に記載していないと過疎債を受けられないということで、どうしても網羅的な内容になってしまうので他市町村と差別化を図るのは難しい部分はある。その一方で、国見町のような小さい町だからこそ、地域と連携して色々と進めていく、人材育成を重点に進めていくということを「見える化」すると国見町らしさが出るかもしれない。
- **委員**：次回以降は、事前に資料を送付いただきたい。
⇒庁内での確認修正作業をギリギリまで行っていたため、当日の配布となってしまった。今後は、早くお示しできるよう努めたい。なお、今後意見があれば、パブリックコメントを7月末まで行うので、その際にいただければと思う。

③ その他

※特になし

5. 閉 会